

事前配付資料

令和7年度第5回天竜区協議会 資料

4-1 (1) 協議事項

令和7年度地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」の提案について・・・1ページ

4-1 (2) 報告事項

春野地区特別拠点回収終了について

・・・・・・・・・・・・・・35ページ

4-1 (3) 地域課題

中山間地域（特に春野町）の医療の現状について・・・・・・・・・・別紙1

観光資源としての阿多古川について

・・・・・・・・・・・・・・別紙2

令和7年度 地域力向上事業

市民提案による住みよい地域づくり助成事業
(追加募集)

事業提案書

令和7年8月28日

区協議会

令和7年度 地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」

	事業名	提案者 (担当課)	区分 補助率	概算 事業費 (円)	交付 希望額 (円)
	Music Echo ～日々の暮らし に SPICE を～	はるいろ実行 委員会 (春野支所)	新規 50%以内	1,557,260	778,000
	事業の目的		事業の概要		
No. 1	<p>浜松市や天竜区に関わりの深いアーティスト・飲食事業者等を迎え、天竜区春野町の自然公園で、<u>地域に眠る自然・文化資源・食(アート、音楽、山椒、スパイス)を活かした文化芸術イベントを開催する。</u></p> <p>当該事業を通じて、<u>地域ブランド力の向上、交流人口の拡大、地域住民の誇りとつながりの醸成を図るとともに、持続的な地域活性化事業のモデルづくりを目指すこと</u>を目的とする。</p>		<p>開催日：令和7年11月2日(日) 12:00～19:00</p> <p>会場：春野ふれあい公園(荒天の場合は旧熊切小学校グラウンド・体育館)</p> <p>入場料：高校生以上2,000円(高校生未満及び春野町民は無料)</p> <p>出演者：天龍太鼓、ERIKO、夜のアモーレ、畑中摩美、玉城博香、松井茉未、Cozmu</p>		
	事務局意見(実施要綱の該当要件)		採用の可否	補助限度額(円)	
	<p>【実施要綱第4条(4)に該当】</p> <p>提案団体は、<u>春野町の地域振興について強い関心があり、過去には同会場で無料の音楽イベントを企画・運営した経験がある。</u>このことから、<u>イベント運営のノウハウは十分であると</u>考えられる。補助金を活用することにより、<u>過去のイベントからバージョンアップし、より集客力の高いイベントとなること</u>が期待される。</p> <p>提案事業を実施することで、<u>天竜区春野町の豊かな地域資源が再認識されるとともに、その魅力が区内外の住民に効果的に発信されること</u>が期待される。</p>		採用が適当である。	778,000	

令和7年度 地域力向上事業

「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」

	事業名	提案者 (担当課)	区分 補助率	概算 事業費 (円)	交付 希望額 (円)
	岡部亮登打楽器リサイタル &打楽器ワークショップ	岡部亮登打楽器リサイタル 実行委員会 (まちづくり 推進課)	新規 50%以内	815,810	407,000
	事業の目的		事業の概要		
No. 2	<p><u>浜松市出身</u>で日本クラシック音楽界を代表するプロのオーケストラ楽団である<u>東京フィルハーモニー交響楽団</u>の首席ティンパニ奏者である<u>岡部亮登氏</u>による<u>打楽器リサイタル</u>と<u>打楽器ワークショップ</u>を<u>浜松市天竜壬生ホール</u>で行う。</p> <p>当該公演を開催することで、<u>岡部氏の卓越した音楽表現や演奏技術を市内小・中・高校の吹奏楽部員を含む音楽愛好家等に披露・普及し吹奏楽文化を活性化するとともに、天竜区及び浜松市天竜壬生ホールの魅力を広くPRすることを目的とする。</u></p>		<p>【岡部亮登打楽器リサイタル】 公 演 日：令和7年9月25日(木) 18:00 開場／18:30 開演 会 場：浜松市天竜壬生ホール チケッ ト：一般 3,000 円、学生 1,000 円 共 演：森浩司（ピアノ）、関聡（打楽器）</p> <p>【打楽器ワークショップ】 実 施 日：令和7年9月26日(金) 令和7年9月27日(土) 会 場：区内の小学校、中学校、高等学校</p>		
	事務局意見（実施要綱の該当要件）		採用の可否	補助限度額（円）	
	<p>【実施要綱第4条（4）に該当】 提案団体代表は、天竜区での教員経験があり、情操教育について高い関心があることから、<u>天竜区内の子ども達に高度な演奏に接してもらいたいという強い思いを持っている。</u> 提案事業は、<u>天竜区の象徴的な施設である浜松市天竜壬生ホールや地域にとって身近な学校で実施するものであり、区内小・中・高校の子ども達や区民が市街地へ行かずとも高度な音楽表現や演奏技術に触れる機会を創出することから、天竜区における芸術文化の発展に寄与することが期待される。</u></p>		採用が適当である。	407,000	



第1号様式（第6条関係）

事業提案書

令和7年7月30日

（あて先）浜松市長

所在地



団体の名称 はるいろ実行委員会

代表者役職・氏名 代表 加藤 仁士
（署名又は記名押印してください。）

連絡先



次のとおり、事業を提案します。

事業名	Music Echo ～日々の暮らしにSPICEを～
実施時期	令和7年11月2日（日）12:00～19:00
実施場所	春野ふれあい公園（天竜区春野町領家145-1）※雨天決行 荒天時：旧熊切小学校グラウンド & 体育館 （天竜区春野町石打松下211-1）
概算事業費	1,557,260円
参加予定人数	団体スタッフ12名、参加者300名
事業の内容 （事業の対象や手法などを具体的に記入）	*内容がわかる詳細資料を別途添付 地域資源を活かした体験型イベント「Music Echo」を開催し、質の高い音楽・アート・食を通じて地域の魅力を発信する。 交流促進と新たな地域価値の創出を図り、将来的な文化拠点づくりへつなげる。
事業の目的	*何のためにその事業を実施したいのか具体的に記入 本事業は、地域に眠る自然・文化資源・食（アート、音楽、山椒、スパイス）を活かし、感性を刺激する文化芸術イベントを創出する。事業を通じて、地域ブランド力の向上、交流人口の拡大、地域住民の誇りとつながりの醸成を図る。単発イベントにとどまらず、持続的な地域活性化のモデルづくりを目指す。
地域資源の活用	*区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を事業にどう活かす予定か。 ・地域の自然公園のイベントステージを会場として事業を開催する。 ・春野町在住のアーティストや、天竜区内で活動する和太鼓団体の出演。 ・山椒や地元食材を使用した飲食ブースを設置し、地域産品の魅力を発信する。 ・春野町で動画コンテンツを活用しまちおこしを行うLIFE PROJECTの平山了将氏に事前・本番に映像を撮影してもらい、事業を周知する広報物として活用する。

<p style="text-align: center;">地域課題</p>	<p>* 解決すべき地域課題やその原因・背景は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 人口減少や高齢化による地域単位のイベント（お祭り）の減少。 ▪ 地域コミュニティの停滞と世代間の隔たり。 ▪ 天竜区の豊かな自然や、歴史文化、そこに住む人々等の地域資源の可視化と地域外への発信力。
<p style="text-align: center;">事業の妥当性</p>	<p>* その事業に取り組むことによって、事業が地域の課題解決にどう結び付くか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域で暮らす人々が毎年楽しみにしてくれるイベントが増える。 ▪ 世代間や在住者・移住者の交流を促し、地域の中で「人と人のつながり」がより多角的に形成される。 ▪ 天竜区の文化資源が可視化され、SNS や動画コンテンツ等で発信されることで「行ってみたい地域」として他地域や市内外へ魅力が発信される。
<p style="text-align: center;">公益性</p>	<p>* 区民がどのような効果を受けるか。住みよい地域づくりにどのように寄与するか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域外アーティスト・来訪者との交流が生まれ、地域の新たな魅力発見につながる。 ▪ 地域資源（山椒・自然・文化）の新たな価値発信により、地域ブランドが向上する。 ▪ 地域の事業者の販路拡大や新規ビジネス創出につながる。 ▪ 地域住民が集う機会となり、コミュニティの活性化が促進される。
<p style="text-align: center;">財政支援の妥当性</p>	<p>* 行政施策と差別化が図られている点は何か。行政が補助すべき理由は何か。</p> <p>天竜区には、世代を問わず、個人単位で地域に根差して、文化的な活動をアーティストや飲食事業者が多数存在する。そのような人々一同に、活用する事業である。</p> <p>事業実施にあたっては、区民や、他区の市民、市外から来場してほしいとの思いがあり、来場者には質の高い「音楽」や「食」を楽しんでほしい。そのような文化の質の高さを軸としながら、地域資源の魅力の再発進を行いたいと考えている。幅広い区民の主体的な参画を促す事業としたいため、天竜区に補助していただきたい。</p>

＜事業提案にあたっての確認事項＞

提案を行う事業について、該当する口にチェックを入れてください。

<p>市税の納付又は納入の状況の確認についての同意（同意する場合は下記に☑を記入）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 浜松市地域力向上事業実施要綱第2条の規定により、市において、申請者の市税の納付又は納入状況について確認することに同意します。</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> 政治、宗教、選挙活動又は営利を目的とする事業ではありません。</p>
<p>暴力団排除に関する誓約（誓約及び承諾する場合は下記に☑を記入）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 浜松市市民提案による住みよい地域づくり助成事業費補助金の交付申請にあたり、下記事項について誓約し、承諾します。</p> <p>(1) 次に掲げる者のいずれにも該当しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力団（浜松市暴力団排除条例(平成24年浜松市条例第81号。以下「条例」という。)第2条第1号に規定する暴力団をいう。) ・暴力団員等（条例第2条第4号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。) ・暴力団員等と密接な関係を有する者 ・上記3点に掲げる者のいずれかが役員等（無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役又はこれらに準じるべきもの、支配人及び清算人をいう。）となっている法人その他の団体 <p>(2) 浜松市が暴力団排除に必要な場合には、静岡県警察本部又は管轄警察署に照会することを承諾します。</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> 公序良俗に反する事業ではありません。</p>
<p>■ 浜松市の他の補助金等の支援を受ける見込みは</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ありません</p> <p><input type="checkbox"/> あります（補助金等名称： _____)</p>
<p>■ 国、他の地方公共団体又は浜松市の外郭団体から別に補助金等の公的支援を受ける見込みは</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ありません</p> <p><input type="checkbox"/> あります（補助金等名称： _____)</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> 施設整備など後年度に維持管理経費が生じる事業ではありません。</p>
<p>■ 同様の提案を他の区振興課又は行政センターに行って</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> いません</p> <p><input type="checkbox"/> います</p> <p>（提案を行った区振興課又は行政センター： _____ 区振興課・行政センター</p> <p>事業名称： _____)</p>
<p>■ 給与所得者を雇用する事業者ですか。</p> <p><input type="checkbox"/> はい⇒市民税・県民税・森林環境税特別徴収義務者指定通知書又は市民税・県民税・森林環境税特別徴収未実施理由書（第4号様式）を併せて提出してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> いいえ</p>

第2号様式(第6条関係)

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	778,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	1,557,260	

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	予算額	経費内訳(単価・数量)
報償費	○	380,000	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者[玉城博香・松井茉未] 30,000円×2名=60,000円 ・出演者[天龍太鼓・夜のアモーレ・畑中摩美] 35,000円×3組=105,000円 ・出演者[cozmu] 40,000円×1名=40,000円 ・出演者[ERIKO] 50,000円×1名=50,000円 ・当日司会 30,000円×1名=30,000円 ・チラシ、ポスター デザイン費 30,000円×1名=30,000円 ・映像撮影&編集 65,000円×1名=65,000円
賃金	○	62,040	<ul style="list-style-type: none"> ・当日会場受付&案内等 1h@1,034円×6h×10人=62,040円
旅費	—	0	—
需用費	○	72,000	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、ポスター、会場案内、アンケート 印刷費 一式 34,500円 ・リストバンド(来場者用)印刷&制作費 150円×250枚=37,500円
	○	30,000	<ul style="list-style-type: none"> ・区分ロープ(100m) 2,800円×5点=14,000円 ・ゴミ袋(45L) 800円×4点=3,200円

				<ul style="list-style-type: none"> ・養生テープ (25m) 280 円×10 点=2,800 円 ・会場案内掲示看板 5,000 円×2 点=10,000 円
役務費	保険料	○	20,000	・イベント当日レクリエーション保険
	著作権料	○	10,000	・音楽ステージ楽曲使用料
	手数料	○	3,630	・銀行振込手数料等
	委託料	○	924,000	・舞台照明&音響設営
	使用料及び賃借料	○	55,590	<ul style="list-style-type: none"> ・当日会場使用料 春野ふれあい公園 [荒天時] 旧熊切小学校 [参考]イベント実施に係る会場費について 春野ふれあい公園 55,590 円 旧熊切小学校グラウンド & 体育館 10,000 円 ※収支予算書には、比較のうえ、金額が高い会場を計上。
	原材料費	—	0	—
計			1,557,260	
うち補助対象経費			1,557,260	

※補助対象事業に○を記載してください。

第3号様式（第6条関係）

団体の概要書

団体名	はるいろ実行委員会		
事務所の所在地			
	電話		F A X ー
	ホームページ	ー	
代表者役職・氏名	代表・加藤仁士		
担当者連絡先	氏名		
	電話		
	F A X		
	Eメール		
設立年月日	2022年3月1日		
会員数	3名		
団体の目的	<p>少子高齢化が進む春野町が少しでも明るくなるように。 アートの力を借りて、自分を表現する。 町外の方々が春野町を訪れるきっかけづくり。 子どもたちにいろんな大人をみてもらい、将来を描いてもらうキッカケに。</p>		
主な活動内容	<p>2021- 「はるいろ」（春野地域で春野イベントとして自主企画・運営） 2024- くま水車の里にて秋の音（AKINONE）を企画（開催は中止） 2025.4 「はるいろ」の更なる広がりを求め、掛川市森町で実施</p>		

※団体の詳細がわかる資料を別途添付

令和7年度天竜区地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」
事業提案書 「別紙：内容がわかる別紙資料」

【イベント概要】

- 催事名：Music Echo ～日々の暮らしに SPICE を～
開催日：令和7年11月2日（日）12:00～19:00
開催場所：春野ふれあい公園（天竜区春野町領家145-1）公園貸切 ※雨天決行
荒天時：旧熊切小学校（天竜区春野町石打松下211-1）
入場料：高校生以上2,000円 ※高校生未満または、春野町民は無料

【具体的内容】

- ・ 地域の自然公園のイベントステージを会場に、夕方から夜にかけて屋外音楽イベント
[出演アーティスト]（現在調整中）
天龍太鼓、ERIKO、夜のアモーレ、畑中 摩美、玉城 博香、松井 茉未 cozmu
ジャンルは和太鼓、シンガーソングライター、バンド演奏など多彩な構成とし、
多世代が楽しめる内容とする。
春野町で劇団を主宰する松井さんにも出演していただき、地域内外へ自身の活動認知
度を上げる。また、ステージ装飾を地元で活動するアーティストが担当する。
- ・ 市内アーティストによるライブペイントやアート、写真作品等の展示
春野町在住アーティストによるライブペインティングを実施
絵画、イラスト、写真作品の展示スペースを設置。
夕方から夜にかけて刻々と変わる自然光と照明演出による「ライブ感」を演出し、
来場者に感性を刺激する体験を提供する。
- ・ 地元参加型のワークショップやステージ企画を取り入れ、地域住民の参画を促進
子どもから大人まで楽しめる体験型ワークショップを予定。
- ・ 山椒や地元食材を使用した飲食ブースを設置し、地域産品の魅力を発信
地元飲食店・生産者によるオリジナルメニューの提供を通じ、地域産品の魅力を広く
発信する。例）山椒スパイスカレー、ジビエ料理など

上記内容を通じて、地域資源を活かした新たな賑わいづくりと、交流人口拡大を目指す。
また、春野町で動画コンテンツを活用しながらまちおこしを行う LIFE PROJECT 平山了将氏に事前・本番に
映像を撮影してもらい、事業を周知する広報物として活用する。
来場者に対し、満足度を図るアンケート（紙 or QR コード）を実施し、イベントの質や波及効果について、
イベント終了後に分析・検証を実施する。

【出演アーティスト プロフィール】

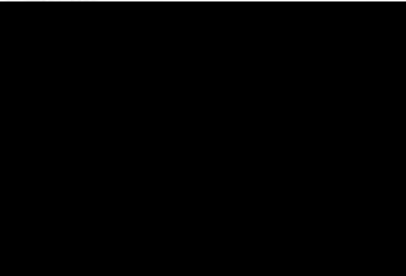
□天龍太鼓



《profile》

平成7年結成。奈良県で舞太鼓(まいだいこ)飛鳥組を主催する飛鳥大五郎氏の指導を受け、力強さの中にも様式美を取り入れた見た目にも美しい和太鼓演奏を目指す。

□ERIKO



《profile》

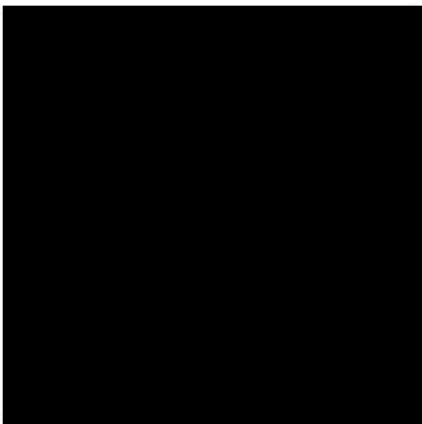
静岡県浜松市生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。東京在住。

3歳からピアノ、16歳ではドラムを演奏し、20歳から歌に目覚める。

1996年単身NewYorkへ渡り、楽曲創作活動に専念する。

現在では、数々のアルバムリリースとともに関東圏を中心に日本各地でライブ活動やラジオ番組出演多数。音楽を通じて様々なジャンルのアートとのコラボを試みてライブ活動を展開中。

□夜のアモーレ



《profile》

ギター、ベース、ドラムで構成された嬉しい3人組。ミニマルな多層のフレーズ+変拍子の独自の人力グルーブにより、オーディエンスを異次元の世界へ誘う。

□畑中 摩美



《profile》

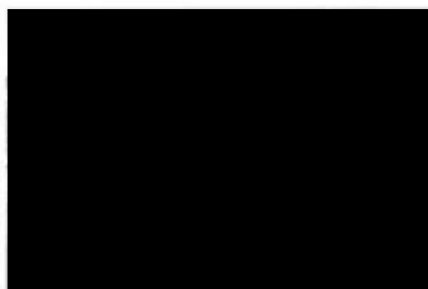
ギター弾き語りシンガーソングライター。

アルバム『ひと粒のワタシ』（ポリスター）メジャーでデビュー。

2011年拠点を地元・静岡県浜松市に移した後、『K-mix 神谷宥希枝の独立宣言ザ☆オーディション vol.3』でグランプリ受賞。

さらに活動の幅を広げ、K-mix(静岡FM放送)の番組『畑中摩美のまみの「す」』でパーソナリティをつとめる傍ら、楽曲提供やサウンドロゴ制作、ボーカル講師をつとめるなど幅広く活躍。

□玉城 博香



《profile》

静岡県富士宮市出身。春野町に移住。即興で描くライブペイントやアートイベントを開催。芸術大学を卒業後、教員になり、アーティストへ転身した。学校では体験できないアートの自由さ、楽しさを子供から大人まで伝えることを目的に活動中。春野でのイベントは、毎年春に春野ふれあい公園で行う「はるいろ」で子供たちと絵を描いている。

また、遠鉄百貨店、ROLAND、介護のアイケアさんとのコラボや、学校訪問授業、大学祭出演など、様々なことに挑戦中。

□松井 茉未



《profile》

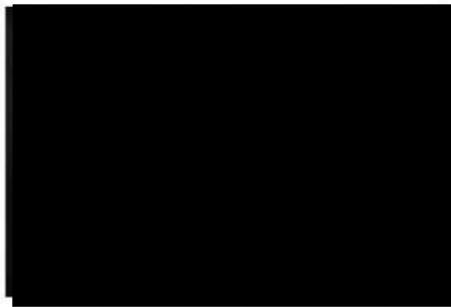
劇団限界集落主宰。声楽家。

浜松市立高校、国立音楽大学声楽科卒業。

女性コーラスグループ「HURUmonia」をプロデュース。

また、ジャズバンド Million Miles ではボーカルを担当。

□Cozmu



《profile》

静岡県沼津市出身、浜松市在住。

静岡県を拠点に活動のシンガーソングライター、cozmu(こずむ)。

2022年3月よりソロアーティスト活動始動。自身の経験から生まれた、切ない歌詞ながらもどこか優しく包み込むような楽曲が印象的。そのオルタナティブな感性から、HIPHOPを彷彿とさせるサウンドや、一見無機質とも思えるようなコンテンポラリーなアレンジなど様々な要素をポップスとして取り入れ、かつ初めて曲を作ったような初期衝動を複合し、儚くも慎ましいサウンドを奏でる。一方、ライブでは自身の赴くままに、イヤホンで聴くだけでは伝えきれない胸の内を歌う。アーティスト名の「こずむ」は、静岡県の方言で『沈殿する』という意味の『こずむ(こぞむ)』が由来。誰しもの心の奥底に沈む、溶けきらない気持ちや過去などに寄り添う歌を届けたい意が込められる。

【過去の実施イベント】

○「はるいろ」のイベントの様子



確定

Food&Drink

- QUE PADRE
- ナチュラルスイーツみき工房
- TEN GOOD PROJECT

展示販売、ワークショップ

- 玉城博香

はるいろ実行委員会 規約（会則）

◇ 団体の名称及び所在地

この会は、「はるいろ実行委員会」と称し、事務所は、

◇ 団体の目的

この会は、少子高齢化が進む春野町において、文化芸術の力を活用し、春野地域が前を向き、様々な活動が活性化するきっかけづくりと地域の文化における発展を目指すことを目的とする。

◇ 活動内容

この会では、前項の目的を達成するため次の取組を行う。

1. 「はるいろ」と題したフェスティバルの実施
2. その他地域振興を目的としたアートワークショップ、イベントの実施

◇ 会員の入退会について

本会に入会したい際は、団体の活動主旨に賛同した上で代表者と話し合いの上入会を決定するものとする。

◇ 役員

本会に次のとおり役員を置く。

- ・代表 1名
- ・副代表 1名
- ・会計 1名
- ・その他、必要に応じて役員を置くことができる

◇ 組織

本会の目的に賛同し、会の運営に協力する意思がある静岡県内の在住者で構成する。

◇ 付則

この規約は令和4年3月1日から施行する。

ここに定めのない事項については、役員会で協議の上、決定する。

はるいろ実行委員会 構成員名簿

役職	氏名	フリガナ	住所
代表	加藤 仁士	カトウ ヒトシ	
副代表			
会計			

※令和4年3月1日時点



第1号様式 (第6条関係)

事業提案書

2025年7月31日

(あて先) 浜松市長

所在地



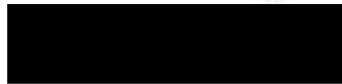
団体の名称 岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会

代表者役職・氏名

会長 青島 貴和



連絡先 Tel



次のとおり、事業を提案します。

事業名	岡部亮登打楽器リサイタル&打楽器ワークショップ
実施時期	2025年9月25日(木)～9月27日(土)
実施場所	浜松市天竜壬生ホール、市内小・中・高校
概算事業費	815,810円
参加予定人数	団体スタッフ18名、参加者 一般客150名、招待客350名
事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	<p>*内容がわかる詳細資料を別途添付</p> <p>浜松市出身で日本のクラシック音楽界を代表するプロのオーケストラ楽団である東京フィルハーモニー交響楽団の首席ティンパニ奏者である岡部亮登氏による、打楽器リサイタルと小・中・高校生を対象とした打楽器ワークショップを実施するもの。</p> <p>① 岡部亮登打楽器リサイタル 公演日：2025年9月25日(木) 18:00開場 18:30開演 場 所：浜松市天竜壬生ホール チケット：一般 3,000円 学生1,000円 【プログラム】 一柳慧：リズム・グラデーション (ティンパニ独奏) Paul Creston：マリンバのための小協奏曲 (ピアノとマリンバ) Robert Marino：Eight on 3 and Nine on 2 (打楽器二重奏) J. S. Bach：無伴奏チェロ組曲 第1番 (マリンバ独奏) 西村朗：デュオローグ (ピアノとティンパニ) 共演 森浩司 (ピアノ) 関聡 (打楽器) ○招待客について 浜松市・天竜区内の小・中・高校の子ども達は各学校へ案内状</p>

	<p>を送り無料招待とする。</p> <p>【対象校】 天竜高等学校、天竜高等学校 春野校舎、湖北高等学校 佐久間分校、清竜中学校、光が丘中学校、春野中学校、佐久間中学校、水窪中学校、二俣小学校、光明小学校、上阿多古小学校、下阿多古小学校、熊小学校、横山小学校、犬居小学校、気田小学校、佐久間小学校、水窪小学校</p> <p>②打楽器ワークショップ 日時：2025年9月26日(金)～27日(土) 場所：各学校の音楽室等 内容：浜松市天竜区内の小・中・高校生(可能な限り吹奏楽部や金管バンド部の生徒、児童)を対象として、ワークショップを行う。</p> <p>○ワークショップ内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽やオーケストラでの打楽器の役割とは ・クラシック音楽における打楽器の役割 ・打楽器以外の管楽器、弦楽器におけるリズムの重要性 ・オーケストラ打楽器奏者から見た POPS 音楽へのアプローチ方法 ・楽器の基本的な正しい演奏方法 ・岡部氏の現在に至るまでのキャリア教育につながるお話 ・プロ奏者に質問コーナー <p>【備考】 9月27日 清竜中&光が丘中 ワークショップ開催決定、他(2～3校を予定)調整中</p>
<p>事業の目的</p>	<p>*何のためにその事業を実施したいのか具体的に記入</p> <p>浜松市・天竜区内の小・中・高校の子ども達（吹奏楽部員等）へワークショップや吹奏楽指導を行い、ハイレベルな演奏に触れる機会や適切なレッスンを受ける機会を創出し、浜松市・天竜区の吹奏楽を活性化させる</p> <p>高いレベルの音楽表現とその卓越した演奏技術を皆様に鑑賞して頂く機会を作る。</p>
<p>地域資源の活用</p>	<p>*区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を事業にどう活かす予定か。</p> <p>壬生ホールをリサイタル会場として使用することにより、天竜区に県外から人を集める事が可能となる。また、チラシ等によるリサイタルの広報活動により壬生ホールの名前を全国に知ってもらおう。</p>

地域課題	<p>*解決すべき地域課題やその原因・背景は何か。</p> <p>天竜区の中高の吹奏楽部では指導者が不足している。特に打楽器指導員不足が考えられる。</p> <p>打楽器パートは楽器の種類が豊富であり、各楽器の適切な知識、奏法が間違った解釈のまま各学校に受け継がれていることが多い。天竜区のような山間地域では部員数も少ない事が多く、演奏楽器も少なくなり打楽器についての知識が不足しがちである。</p> <p>そのため、適切なレッスンを受ける機会も非常に少ない現状だと考える。</p>
事業の妥当性	<p>*その事業に取り組むことによって、事業が地域の課題解決にどう結び付くか。</p> <p>浜松市・天竜区内の小・中・高校の子ども達（吹奏楽部員等）がワークショップや吹奏楽指導を受けることにより、音楽に対する取り組み方や楽しみ方を見出すことができる。それは、浜松市・天竜区の吹奏楽を活性化させ、高いレベルの音楽に触れあう機会が生まれる。一般の方にも音楽を鑑賞できる絶好の機会となり、幅広い客層の方にアピールできる。</p>
公益性	<p>*区民がどのような効果を受けるか。住みよい地域づくりにどのように寄与するか。</p> <p>浜松市・天竜区内の小・中・高校の子ども達（吹奏楽部員等）がハイレベルな演奏に触れる機会や適切なレッスンを受ける機会を創出し、浜松市・天竜区の吹奏楽を活性化させる。</p> <p>音楽ファンだけでなく、一般の方にも音楽を鑑賞できる絶好の機会となる事業と考えており、高いレベルの音楽に触れあう機会が生まれ、区内の文化振興に繋がる。</p>
財政支援の妥当性	<p>*行政施策と差別化が図られている点は何か。行政が補助すべき理由は何か。</p> <p>岡部氏を浜松に招聘し、主催者と一緒に事業運営をすることができるとともに、浜松市・天竜区内の小・中・高校の子ども達（吹奏楽部員等）がハイレベルな演奏に触れ、ワークショップ、吹奏楽指導を受ける機会を創出し、浜松市・天竜区の吹奏楽を活性化させる。</p> <p>子ども達に対して音楽的に適切な指導、特定の地域で事業展開することは、行政では難しい分野であると考ええる。</p>

第2号様式（第6条関係）

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	407,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	815,810	

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	予算額	経費内訳(単価・数量)
報償費	○	230,000	ピアノ演奏料(森浩司氏) 合わせ：@5,000×2回=10,000 当日：@50,000×1回=50,000 打楽器演奏料(関聡氏) 合わせ：@5,000×4回=20,000 当日：@50,000×1回=50,000 ステージマネージャー(舞台監督、構成、演出、音響照明チェック)謝礼(能登千晴氏) 当日：@40,000×1回=40,000 当日写真撮影(内山みなみ氏) @50,000×1日=50,000
賃金	○	155,100	当日アルバイト@1034×10時間×15人=155,100

	旅費	○	81,240	交通費（森浩司氏、関聡氏、能登千晴氏、） 新幹線（東京～浜松） @8,440×2（1往復）×3人=50,640 宿泊費（森浩司氏、関聡氏、能登千晴氏） @10,200×1日×3人=30,600
需用費	消耗品費	○	18,300	封筒100枚入り@2,000×3セット=6,000 ボールペン@50×10本=500 養生テープ@300×1個=300 付箋 1,000 除菌ウェットティッシュ@500×3=1,500 アンケート用紙代2,000 プリンターインク代アンケート印刷用7000
	印刷製本費	○	120,000	チラシ@2.5×4,000枚=10,000 チラシデザイン料@30,000×1式=30,000 （高岡氏） チケット600枚 一式 4,000円 プログラム500枚一式 46,000円 ポスター80枚一式 30,000円
	会議費	○	2,500	お茶代@500×5回 ミーティング
役務費	郵便料	○	36,000	チラシ、招待状送付（市内中高78校+その他）@180×200=36,000
	手数料	○	20,000	ピアノ調律@20,000×1式=20,000
	賃借料、運搬費	○	33,000	楽器運搬費（トラック運搬打楽器1式）

<p>使用料及び賃借料</p>	<p>○</p>	<p>119,670</p>	<p>合わせスタジオ使用料 プロフェッショナルパーカッション @20,000×1日=20,000 合わせスタジオ使用料@3500×2回=7000 (塚田スタジオ)</p> <p>自宅スタジオ借用料(関聡氏) 合わせ:@5,000×4回=20,000</p> <p>ホール、楽屋使用料 @30,110×1日=30,110</p> <p>ホール付帯設備使用料 グランドピアノ@7,000×1日=7,000 冷暖房費@1,380×12時間=16,560 天井反射板ライト@2,200×1日=2,200 シーリングライト@300×1日=300 音響・映写装置@3,980×1日=3,980 ダイナミックマイクロホン@520×1日=520</p> <p>著作権使用料 @12,000×1公演=12,000</p>
<p>計</p>		<p>815,810</p>	
<p>うち補助対象経費</p>		<p>815,810</p>	

※補助対象事業に○を記載してください。

第3号様式（第6条関係）

団体の概要書

団体名	岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会		
事務所の所在地	[Redacted]		
	[Redacted]	F A X	
	ホームページ		
代表者役職・氏名	会長 青島貴和子		
担当者連絡先	氏 名	[Redacted]	
	電 話	[Redacted]	
	F A X	[Redacted]	
	Eメール	[Redacted]	
設立年月日	2025年5月1日		
会員数	3名		
団体の目的	<p>「浜松出身の打楽器奏者の魅力を地域へ発信する事」と「全国の高いレベルの音楽表現との交流、その地域への普及」を実現し、もって地域文化の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>（1）新たな音楽文化芸術の創造・発信により、浜松の音楽文化芸術の発展に貢献すること。</p> <p>（2）音楽文化芸術の普及・教育により、芸術文化の日常生活への浸透を図る こと。</p> <p>（3）音楽文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図ること。</p>		
主な活動内容	打楽器リサイタルの企画、運営、演奏		

※団体の詳細がわかる資料を別途添付

岡部亮登打楽器リサイタル企画書

1. 名称

岡部亮登打楽器リサイタル

2. 目的

①市外・県外の演奏家、音楽愛好家に天竜壬生ホールの魅力を広める。
豊かな自然に囲まれ、全国的にも珍しい地域の木材を使用したコンサートホールである天竜壬生ホール。温かく、木の薫りを感じさせる唯一無二の響きは全国的に有名なコンサートホールに比べ何ら引けを取らないと私達は確信をしている。

出演者の岡部亮登は浜松市の出身者であり、広島交響乐团を経て現在東京フィルハーモニー交響乐团の首席奏者として広く第一線で活躍しているため、全国各地からの集客が望めると考える。

また壬生ホールのキャッチフレーズとなっている「木の鳴るホール」という言葉とまさに木をマレットで叩き鳴らす楽器であるマリンバとの共存は興味深い響きになることが予想される。

②地域の学生との交流を通し浜松吹奏楽界の活性化を計る。

岡部自身も中学校の吹奏楽部がきっかけで打楽器を始めており、中学高校と吹奏楽に没頭してきた経験から、地域の吹奏楽部の学生と親和性が高いといえる。今回のリサイタルを通して各学校と交流をもち音楽と打楽器の魅力の高いレベルで伝えていくことが自身を育ててくれた浜松に対しての恩返しだと考えている。

3. 日時 会場 入場料

2025年9月25日(木) 18:00 開場 18:30 開演

浜松市天竜壬生ホール

〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣20-2

一般 3000円 学生 1000円

4.主催 後援

主催 岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会
後援 東京フィルハーモニー交響曲団
ときわの会（浜松学芸高等学校同窓会）

5.内容 一柳慧 リズム・グラデーション（ティンパニ独奏）

Paul Creston マリンバのための小協奏曲（ピアノとマリンバ）

Robert Marino Eight on 3 and Nine on 2（打楽器二重奏）

J.S.Bach 無伴奏チェロ組曲 第1番（マリンバ独奏）

西村朗 デュオローグ（ピアノとティンパニ）

共演 森浩司（ピアノ） 関聡（打楽器）

6.出演者プロフィール

岡部亮登

1986年浜松市生まれ。3歳よりピアノを始め、浜松市立高台中学校の吹奏楽部にて打楽器と出会う。浜松学芸高等学校普通科吹奏楽コース卒業。国立音楽大学卒業後、NHK交響楽団打楽器アカデミー生として2年間研鑽を積み、2013年に広島交響楽団に入団。

在団中に第31回日本管打楽器コンクール第1位受賞。大賞演奏会にて内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞、特別大賞、東京ニューシティ管弦楽団賞を受賞。

ソリストとして秋山和慶指揮・広島交響楽団、内藤彰指揮・東京ニューシティ管弦楽団、保科洋指揮・フィルハーモニックウインズ浜松と共演。NHK-FM「リサイタルノヴァ」出演。

2017年に広島交響楽団を退団、フリー奏者として1年間活動した後に、東京フィルハーモニー交響楽団に首席ティンパニ・打楽器奏者として入団。

「NHK紅白歌合戦」「クラシックTV」「いないいないばあっ!」「チコちゃんに叱られる!」「ミュージックステーション」「題名のない音楽会」「情熱

大陸」 「東急ジルベスターコンサート」等テレビ出演も多数。
常葉短期大学でマスタークラスを行うなど後進の指導にも力を入れている。
パーカッショングループ72メンバー。YAMAHAアーティスト。
これまでに藤井修、百瀬和紀、福田隆、植松透各氏に師事。

森浩司

4歳よりピアノを始める。高等学校在学時、吹奏楽部にてTubaパートを担当、アンサンブルの楽しさ、奥深さを知る。東京音楽大学ピアノ演奏家コース、同音楽大学研究科卒業。現在はフリー奏者として、伴奏、ソロ、アレンジ、CD制作等、多岐にわたり精力的に活動中。特にアンサンブルピアニストとして多くのアーティストから信頼をあずかり、打楽器の伴奏や、オーケストラの鍵盤奏者として豊富な経験を持つ。
これまでに打楽器奏者菅原淳氏の伴奏者として氏のマリンバリサイタルをはじめ、「岩城宏之とその仲間達」打楽器コンサート、赤十字国際活動支援CD「花と星」の制作とコンサート、今上陛下御即位20年を祝う御寺泉桶寺夜間特別拝観の奉祝音楽奉納への参加、NHK「どれみふぁワンダーランド」への出演等がある。2013年、Nカブースチン作曲「2台のピアノと打楽器のための協奏曲」日本初演に参加。2015年、東京交響楽団ヨーロッパツアー2015に参加。
これまでに竹中淳子、江口文子、山下葉子、矢野真道、関根有子、鷺見加寿子の各氏に師事。ピアノ集団「ザ・ピアノ」メンバー。アンサンブル「セブンスター」サポートメンバー。

関聡

洗足学園音楽大学大学院を首席で修了。修了時に全楽器首席奏者最高位の成績を修めグランプリを受賞。
第26回打楽器新人演奏会 打楽器部門第1位「特別賞」及びグランプリ「岩城賞」受賞。第6回ルーマニア国際音楽コンクール第1位及び特別賞。第31回日本管打楽器コンクール パーカッション部門第2位。レインボウ21サントリーホール デビューコンサート 2013に出演。
在学中、ソリストオーディションに合格し、洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団とA.Jolivet作曲「打楽器協奏曲」を協演。以来、ソリストとしてオーケストラ、吹奏楽団と打楽器協奏曲の協演を重ねる。
シエナ・ウインド・オーケストラ打楽器奏者として日本全国での活動を中心

に、国内のプロオーケストラ、吹奏楽団への客演やソロリサイタルを行う
他、テーマパークのショー音楽やゲーム音楽、テレビCM、ドラマ、映画の
劇伴音楽、著名アーティストのレコーディングに参加。「THE MUSIC
DAY」「ミュージック・ステーション」「FNS 歌謡祭」などの音楽番組の他、
「芸能人格付けチェック」「ならニデキ」「ネプリーグ」などのバラエティ番
組にも出演。クラシックだけでなく、ドラム/パーカッション奏者としてポッ
プス、スタジオワークまでマルチに活動を行っている。
現在、シエナ・ウインド・オーケストラ打楽器奏者。パーカッショングルー
プ72メンバー。ヤマハアーティスト。Zildjian、Majestic、ASPR エンドー
サー。音楽之友社『ONTOMO MOOK「コンサートパーカッションの世
界」』にて執筆を担当。吹奏楽専門誌「バンドジャーナル」にて2024年度ワ
ンポイントレッスン講師を担当。

岡部亮登打楽器リサイタル

実行委員会

規約

第1条（名称）

本会は、「岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会」と称する。

第2条（目的）

岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会は、「浜松出身の打楽器奏者の魅力を地域へ発信する事」と「全国の高いレベルの音楽表現との交流、その地域への普及」を実現し、もって地域文化の発展に寄与することを目的とする。

- （1）新たな音楽文化芸術の創造・発信により、浜松の音楽文化芸術の発展に貢献すること。
- （2）音楽文化芸術の普及・教育により、芸術文化の日常生活への浸透を図ること。
- （3）音楽文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図ること。

第3条（構成）

岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会は、目的に賛同する個人により構成される。

第4条（事務局）

この会の事務局を以下に置く。

第4条（役員）

岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会に、次の役員をおく。

会長1名、副会長1名、会計、事務局1名

第5条（職務）

- （1）会長は、実行委員会を代表し会務を総理する。
- （2）副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
- （3）会計は、経理を担当する。

第6条（会議）

- （1）会議は会長が招集する。
- （2）会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の際は、会長の決するところによる。

第8条（会計年度）

岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

第9条（雑則）

この規約に定めるもののほか、岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会の運営に関し必要な事項は委員会に諮り、別に定めるものとする。

附則

1. この規約は 2025 年 5 月 1 日から適用する。

岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会
会員名簿

会 長

青島貴和子

副 会 長

会計・事務局

第9号様式

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	春野地区特別拠点回収終了について【令和8年3月31日】				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>1 経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月に天竜清掃工場（天竜エコテラス）が稼働したことにより、天竜区小川の天竜ごみ処理工場を同年3月末に閉鎖した。 ・<u>令和5年度まで天竜ごみ処理工場において、「家庭ごみ自己搬入の受入れ」を行っていたことから、経過措置として令和6年度から7年度の2年間、春野支所駐車場で特別拠点回収を実施している。</u> <p>2 実施日時：週2回（月・木）10時～14時30分</p> <p>3 受入品目：家庭ごみ全品目（連絡ごみを含む）</p> <p>4 回収方法：収集車1台を春野支所駐車場に停留し、受入れ。</p> <p>5 広 報：特別拠点回収の経過措置については、令和5年4月の春野地区自治会連合会で説明、了承後、地元への回覧文書で周知を行った。</p> <p>6 実 績 令和6年度受付総数：174件（月平均約15件・1回平均約2件）</p>				
対象の区協議会	天竜区協議会				
内 容	<p>1 今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>経過措置としての2年間が、令和7年度末（令和8年3月末）で終了するため、特別拠点回収は終了する。</u> ・<u>通常の集積所回収や連絡ごみ回収は、他の地域と同様、引き続き実施していく。</u> ・自己搬入受入れは、天竜清掃工場（天竜エコテラス）で、下記のとおり実施している。 <受付曜日> 月曜日～土曜日 <受付時間> 8時30分～17時00分 <p>2 周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春野地区へ回覧文書でお知らせ。（回覧時期は調整中） ・今後、自己搬入に訪れた利用者にはチラシを配付予定。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ごみ処理券は、これまでどおり春野支所窓口でも販売する。 				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	本件は、令和7年7月18日開催の春野地区自治会連合会にて説明、了承済。				
担当課	天竜清掃事業所	担当者	座馬 和暁	電話	488-7373